

ひあ、す

Vol. 157
2018.5



特集
feature articles

地域おこしプロジェクト～挑戦者たち～



▲協力隊赴任時の吉村さん。美山の空き家を改修した「美山笑点」を拠点に活動を始めた



▲美山蒸元祭りにて。美山を題材としたPR動画を発表する吉村さん(右)。プロデュースは伊藤明子さん(中央)が手掛けた。



▲毎月定例の報告会。ここで吉村さんの活動が報告される。今後の活動について地域や行政を交えた議論が交わされることも。

地域おこし協力隊とは

総務省の「地域おこし協力隊制度」を活用した、地方自治体が地域外からの人材を受け入れる取り組み。さまざまな課題を抱える地方において、地方自治体の委嘱を受けた地域おこし協力隊員の方々に、その地方で生活し、その中で積極的に地域協力活動を行ってもらいます。意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。

「薩摩焼の里」として知られる東市来町美山。400年以上前から「ものづくり」が始まり、その空気を現在も感じることができる歴史と伝統のまちです。3月の中ごろ、この美山地区の拠点となる美山地区公民館で、地域住民が集まり一人の若者の声に静かに耳を傾けていました。フロアの前方でマイクを受けた隊員は、さまざまな課題を抱える地方で生活し、積極的に地域協力活動を行います。任期は最長で3年。特産品の開発や自治体PR、医療・福祉教育の分野まで、課題の解決におけるプロジェクトについて、地域の方々を前に、分かりやすく説明を始めました。

「地域おこし協力隊」とは、総務省の「地域おこし協力隊制度」を活用し、地方自治体が地域外からの人材を受け入れる取り組みです。地方自治体の委嘱を受けた隊員は、さまざまな課題を抱える地方で生活し、積極的に地域協力活動を行います。月。吉村さんの帯びた使命は、日置市が誇る薩摩焼の里・美山を、地域住民と連携しながら魅力ある観光地へと発展させてほしいということでした。美山は「観光」や「定住」などさまざま課題を抱えています。当時美山では、400年続いた「ものづくり」の歴史を次の100年に残そうという機運が高まっていました。そういうなか着任した吉村さんに、地域おこし協力隊の人物を育成する「ローカルベンチャースクール」に所属し、地方で必要なビジネスアイデアを生み出す基礎を学び始めます。

その後、日置市では地域おこし協力隊、特に、美山の観光に特化した「美山観光協力隊」を募集していました。いちき串木野市出身で、もともと美山ともつながりのあった吉村さんは「縁」を感じこれに応募します。

これまで吉村さんは、東京で医療システムを扱う会社に勤めていました。旅行が趣味で、地方を巡ることもよくあつたそう

です。そのうち、その地方が抱える課題が何となく見えるようになり、「自分ならこう取り組むのに」と考えるようになります。やがて地方での起業を考えるようになった吉村さんは、地域おこし協力隊の人物を育成する「ローカルベンチャースクール」に所属し、地方で必要なビジネスアイデアを生み出す基礎を学び始めます。

その後、日置市では地域おこし協力隊、特に、美山の観光に特化した「美山観光協力隊」を募集していました。いちき串木野市出身で、もともと美山ともつながりのあった吉村さんは「縁」を感じこれに応募します。

地域おこし プロジェクト

PROJECT
Miyama

美山観光協力隊





▲美山の今と未来への進み方を可視化

地区の住民で構成される「美山未来つなぎ隊」は、さっそく地区の全世帯にアンケートを実施し、それをもとに協議を重ね、「美山版総合戦略」を作成しました。観光を生かしたまちづくりに沿って現状を分析し、それに対する施策を具体的に明記したその戦略は、県や市に提出されました。空き家を改修してできた「美山笑点」や「美山の朝マルシェ」もその戦略にのつとつて実現しています。そして、「地域おこし協力隊の配置」とも戦略として明記され、吉村さんと美山をつなぐきっかけとなりました。隊長の松岡晃司さんは、「どのような方が美山に来てくれるか不安でしたが、吉村さんのおかげで、人的にも知識的にも隊の活動の幅が広がりました」と喜びを話し、

改修してできた「美山笑点」や「美山の朝マルシェ」もその戦略にのつとつて実現しています。そして、「地域おこし協力隊の配置」とも戦略として明記され、吉村さんと美山をつなぐきっかけとなりました。隊長の松岡晃司さんは、「どのような方が美山に来てくれるか不安でしたが、吉村さんのおかげで、人的にも知識的にも隊の活動の幅が広がりました」と喜びを話し、

店舗が参加。来場者数も1300人ほどとなりました。出店者の中には地域で野菜をつくる高齢の方も。目前で売れていく野菜を見て、また作る楽しみができたと喜んでいたそうです。「0から1を創るのは難しい。まずは今あるものを生かし、1を10に変えることから始めました」と話す吉村さん。「美山笑点」を活用したチャレンジショップや薩摩焼を使った観光商品の開発など、これまでさまざまな取り組み

で携わってきた活動を数え上げたときりがありません。今年2月には総務省が企画する「地域おこし協力隊全国サミット」で登壇し、これまでの活動を報告しました。吉村さんの活動は全国でも注目されています。

美山を未来へ繋ぐ

「美山にはこだわりの人、良いものを突き詰めている人が多い。『ものづくりのまち』美山のпотенシャルの高さを感じる」。着任当時、吉村さんは美山の印象をこう語っていました。

美山には吉村さんが来る以前より、地域づくりに対する素地がありました。平成26年、翌年度から3カ年の活動の基本となる第3期地区振興計画の策定に当たり、美山は市のモデル地区として「未来会議」を開催しています。地域の住民が話し合いを重ね、地区の理想的の未来を描いたこの「未来会議」。そこで発足したのが「美山未来つなぎ隊」です。担い手不足が深刻化する中、薩摩焼の里として400年続く歴史を次の100年先まで繋ぎたいという思いが形

を行ってきました。

企業と連携した観光イベントや

美山PR動画の作成、商品プランディング、美山切手やフリーぺー

バーの制作など、この2年足らず

で携わってきた活動を数え上げた

ときりがありません。今年2月には総務省が企画する「地域おこし

協力隊全国サミット」で登壇し、これまでの活動を報告しました。

美山の朝マルシェ



となつて結成されました。

地区的住民で構成される「美山

未来つなぎ隊」は、さっそく地区の全世帯にアンケートを実施し、それをもとに協議を重ね、「美山版総合戦略」を作成しました。観光を生かしたまちづくりに沿って現状を分析し、それに対する施策を具体的に明記したその戦略は、県や市に提出されました。空き家を

改修してできた「美山笑点」や「美山の朝マルシェ」もその戦略にのつとつて実現しています。そして、「地域おこし協力隊の配置」とも戦略として明記され、吉村さんと美山をつなぐきっかけとなりました。隊長の松岡晃司さんは、「どのような方が美山に来てくれるか不安でしたが、吉村さんのおかげで、人的にも知識的にも隊の活動の幅が広がりました」と喜びを話し、

店舗が参加。来場者数も1300人ほどとなりました。出店者の中には地域で野菜をつくる高齢の方も。目前で売れていく野菜を見て、また作る楽しみができたと喜んでいたそうです。「0から1を創るのは難しい。まずは今あるものを生かし、1を10に変えることから始めました」と話す吉村さん。「美山笑点」を活用したチャレンジショップや薩摩焼を使った観光商品の開発など、これまでさまざまな取り組み

で携わってきた活動を数え上げた

ときりがありません。今年2月には総務省が企画する「地域おこし

協力隊全国サミット」で登壇し、これまでの活動を報告しました。

合同会社美山商店

今後の活動に期待します。

「美山未来つなぎ隊」をはじめとして、美山にはさまざまな主体が地域のために活動しています。しかし、ボランティアで活動していくといふことにも限界があるので、地域おこし協力隊の配置とともに、事業とかいう枠組みがありません。美山のためになるのならなんでもやっていこうという会社です」と、説明は続きます。この会社の役員や社員は、美山の住民や美山で働く方たち。ものづくりの里美山の持つ強みを生かし、弱みを補完し合い、美山を持続・発展させていくための組織です。そのためには外貨を得る、今までではボラン

ティアとしてやっていたことも、ちゃんと仕事として解決していくことがあります。

現在、この法人が新たに挑戦しようと検討を重ねているプロジェクトがあります。それは、「交流人口の増」を目的とした「宿泊・交流拠点施設整備プロジェクト」です。まだ計画段階ですが、宿泊や滞在を基軸とした観光商品の開発を行い、日帰りや通過型観光が主となる「美山観光」のさらなる可能性に挑戦していくことです。

吉村さんのこれまでの取り組みのひとつに、美山の理想の未来へ向けての動きを可視化するといつことです。吉村さんはこの施設を観光案内所ではなく、「地域の関係案内所」にしたいと話します。美山の人や資源を紹介し、訪れた観光客や美山で活動したいと考えるアーティストやクリエーターと地域をつなげる場所として、「人と人とのつなぐ」拠点になります。

美山の今、これから

これまで、「1を10に変える」取り組みを続けてきた吉村さん。この会社設立はまさに「0から1を創る」取り組みになります。説明会に訪れ熱心に耳を傾けていた参加者は、「勇気ある行動をする若者はこれまであまりいなかった。地域としてもバックアップしたい」と、これから取り組みに期待を込めて話しました。

これまで、「1を10に変える」取り組みを続けてきた吉村さん。美山に住むそれぞれの方がそれぞれのやり方で美山の未来に向けて進み始めています。美山地区公民館の前館長、石川みどりさんは、「いつの時代も地域を変えるのは『よそ者・ばか者・わか者』。私もよそからやってきて周りに支えられながら地域づくりに携わってきました。吉村さんは若さがある。これからも地域の皆といつしょになつて、美山をもっとよくしてもらわれば」と期待を込めて話しました。

合同会社美山商店は今年4月に設立しました。吉村さんの地域おこし協力隊としての任期は平成31年6月まで。吉村さんが協力隊として受けた業務は、今後隨時

美山商店に移管されていきます。理想の未来に向けて描かれた「美山の今、これから」。それが実現するのも、そう遠くないかもしれません。

5 Hioki City Public Relations 2018.5

4/2 魅力ある農業に1歩を踏み出す

日置市農業公社研修生受入式

将 来農業を志す人を研修生として受け入れ、農業技術や経営方法等を指導する日置市農業公社の研修事業で、第7期研修生の受入式が市役所ありました。平成30年度より2年間の研修を受けるのは吹上町に住む鶴田浩志さん。種をまき育て、うまく収穫できた時の喜びを農業の魅力を感じ、就農を目指すことを決意したと話します。「季節を感じることのできる農業に生きがいを感じる」。鶴田さんはこれからソリダゴやアスパラなどの作付研修を受け、農業大学校で農業技術や経営を学び独立を目指します。受入式では「2年間しっかりと学んで3年後独立したい」と意気込みを話しました。鹿児島地域振興局農政普及課の谷口博之課長は「これから農業の担い手として活躍されることを期待している」と、農家として1歩を踏み出す鶴田さんにエールを送りました。日置市農業公社ではこれまで15人の研修生が農業を学び独立してきました。鶴田さんは独立後ミニトマトを中心とした野菜農家を目指します。



▲研修生としての抱負を述べる鶴田浩志さん



▲長野虹くん（左下）と東福吉晃くん（右下）

全 国の小学生が水泳競技を競う「全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会」で日置市の長野虹くん（当時：伊作小学校6年）と東福吉晃くん（当時：伊作田小学校6年）が鹿児島選抜チームに選ばれ、全国3位の栄冠を勝ち取りました。2人が全国で戦った競技は「水球」。7人チームで水上のゴールを奪い合う水泳競技です。ボールを手で扱うことから「水中のハンドボール」とも呼ばれています。4分間のピリオドを泳ぎ続けるこの競技は相当の泳力が必要となります。小学4年生から水球を始めたという2人は「吹上水球クラブ」に所属し、毎週「ゆーぶる吹上」で練習しています。長野くんは「チームのみんなで点を取った時が楽しい」、東福くんは「チームプレイで攻めて守って勝った時の達成感がいい」と水球の魅力を話しました。中学生になった現在でも水球を続けていると話す長野くんと東福くん。「将来の夢は？」という質問に「水球日本代表」と力強く答えました。

4/7 写真が伝える日置の魅力

第1回フォトコンひおき・とことん日置

日 置市の魅力を1枚の写真で表す「フォトコンひおき・とことん日置」が開催され、表彰式が日置市中央公民館ありました。日置市美術協会が主催するこのフォトコンテストは今回が初めて。協会員から「日置市の魅力を伝えることができないか」と提案があり企画されました。作品には185点の応募があり、その中から大賞が1点、日置市長賞など特別賞が5点、奨励賞が12点選ばれました。写真には伊作太鼓踊りや吹上浜など、日置市の自然豊かな風景や伝統行事が並びます。大賞となるフォトコンひおき賞を受賞した作品は「泥んこの主役たち」。日吉の伝統行事「せっぷとべ」に参加する元気な若者を捉え、泥にまみれながらも笑顔で行事を楽しむ2人の姿が印象的な作品です。撮影した木野市の中村吉文さんはアマチュアカメラマンとして県内各地を回っているとのこと。「日置市にはカメラマンにとって魅力ある景観や行事がたくさんあります」と話しました。出展作品は中央公民館ロビーに展示され、訪れる方は魅力ある日置を楽しんでいました。



▲第1回フォトコンひおき賞を受賞した中村吉文さんの作品

3/22 高校生が美山をご紹介

美山フリーペーパー発刊

「つ いつい美山に行きたくなっちゃう、そんなフリーペーパーを作りたい」。そんな思いで制作されたフリーペーパー「美山旅。」が発刊されました。制作したのは伊集院高校生有志の皆さん。1年生から2年生の計9人が美山の店舗を1店舗ずつ選び、取材から撮影、デザインまで手掛けました。窯元を取材した2年生の御領園彩さんは「窯元に入ったのは初めて。個性豊かで魅力的な作品を伝えたいと思いました」と話します。このフリーペーパー制作は卒業生で地域創生を学ぶ高橋空雅さんが企画したもので、卒業時の担任に企画を持ちかけ実現しました。美山で活動する地域おこし協力隊の吉村佑太さんと知り合い美山の魅力に気づいたという高橋さん。この企画では美山の“人”に焦点をあてたと話します。「このフリーペーパーを見て美山の人たちに会いに来てもらえばうれしい」と話しました。それぞれのページには担当した高校生の手書きの文字が踊り、撮影にはフィルムカメラを用いるなど、冊子には全体的に手作り感が出ています。発行部数は5000部。美山の店舗や美山笑点、市役所庁舎で配布されます。



▲フリーペーパーを制作した伊集院高校生有志の皆さん

3/29 子どもたちが演劇に挑戦!

わくわく演劇セミナー

演 劇について基礎から学ぶ「わくわく演劇セミナー」が日置市女性センターで開催されました。これは、子どもたちがグループになって話し合い劇を演じることで、コミュニケーション能力を伸ばし、お互いの信頼を深めることを目的に行われています。進級・進学を前に行われたこのセミナーに、市内の6歳から14歳まで9人の子どもたちが集まりました。講師は鹿児島市のミュージカル劇団で制作演出を担当していた十羅先生。「演劇はすごいことを伝える場所」と子どもたちに伝え、演劇についてゲームを交えながら楽しく学びました。その後、用意された「河童」という台本をもとに練習が始まります。1時間という短い時間で、監督役の子どもを中心に、みんなで意見を出し合ながら一生懸命練習に取り組みました。最後に各グループで個性のある演劇を披露し、セミナーは大成功の笑顔で幕を閉じました。参加した妙円寺小学校6年生（当時5年生）の山下廉翔くんは「自分からアイデアを出せたのがよかったです。クラスのみんなにも演劇の楽しさを教えてあげたい」と話しました。



▲熱い演劇が繰り広げられました

3/31 お湯をかけて願いをかけて

湯之元温泉お湯かけ薬師像

湯 之元で「お湯かけ薬師像」が完成し披露セレモニーがありました。全長80センチほどの岩を彫って作られたこの薬師像は、湯之元の温泉の起源をまつる温泉神社のふもと、元湯・打込湯前に鎮座し微笑みを浮かべます。高台にある温泉神社には12代沈寿官の作「白薩摩錦手薬師如来像」が御神体としてまつられています。その御神体をもっと身近で参拝できないかと、湯之元でまちづくり活動を行う「湯之元80人会議」のメンバーで話し合い制作されました。制作を請け負ったのは湯之元で整骨院を営む寺田司さん。寺田さんは日ごろからイラストや木工などを嗜み、芸術の分野に造詣が深いと白羽の矢が立ちましたが、実は石を彫るのは初めて。「失敗するわけにはいかない」と緊張しながら彫り始めたそうですが、慣れてくると「無心になれる時間だった」と制作を振り返ります。治したい箇所にお湯をかけると御利益があるというこの薬師像。集まった皆さんには願いを込めて像に源泉をかけます。お湯かけに訪れた岡ゆりさんは「視力が良くなりたい」と像の優しい瞳にそっとお湯をかけていました。



▲願いを込めてお湯かけ

条例の主なポイント

POINT①

交通安全 教育・啓発

POINT③

乗車用 ヘルメット着用

POINT②

自転車の 安全適正利用

POINT④

自転車損害賠償 保険等への加入

主な施策

自転車損害賠償保険への加入

- ・自転車利用者…加入の義務
- ・事業者 …加入の義務
- ・自転車貸付業者…加入の義務
- ・自転車販売業者…加入確認の義務

乗車用ヘルメットの着用

- ・自転車利用者 …着用の努力義務、同乗する幼児に着用させる義務
- ・保護者 …中学生以下の子に着用させる義務
- ・高齢者の同居者等…高齢者に着用の助言をする努力義務



▲戸別受信機

戸別受信機の金額 38,880円(税込)

※電波の受信状況が悪く、アンテナの追加設置が必要な場合は別に料金が発生します。

【お問い合わせ先】

本庁総務課防災係 TEL 248-9401
東市来支所地域振興課 TEL 274-2112
日吉支所地域振興課 TEL 292-2112
吹上支所地域振興課 TEL 296-2112

鹿児島県は、自転車が関係する交通事故の防止や被害者の保護を図り、県民が安心して暮らすことができる地域社会の実現するため、「かごしま県民のための自転車の安全で適正な利用に関する条例」を制定しました。次の自転車のマナーを守り、自転車の安全運転に心がけましょう。

CIVIC NEWS 縮小版

かごしま県民のための 自転車の安全で適正な利用に関する条例

について

総務課
防災係からの
お知らせ

市では、防災行政無線戸別受信機の整備が完了し、新しい戸別受信機の運用が始まっています。戸別受信機は、災害発生または警戒すべき時刻の放送や市からのお知らせ、自治会からのお知らせなどの放送を受信する機械です。

戸別受信機はFMラジオも内蔵されているほか、市からの放送や自治会からの放送についてもそれぞれ5件ずつ録音されますので、聞き逃した場合でも、再度確認をする機能があります。

戸別受信機は、市内に住所を有する世帯（住民票上の世帯）に1台ずつ貸与されており、2台目以降については購入していくことになります。また事業所等への設置についても有料となります。

戸別受信機が設置されていない世帯については貸与することができませんので、本庁総務課、または各支所地域振興課へご連絡くださいますようお願いいたします。

CIVIC NEWS 縮小版

防災行政無線戸別受信機について

総務課
防災係からの
お知らせ

「高齢者クラブ」は、自らの健康づくりと生きがいづくり、そして交流を通じた地域への社会貢献を目標としていて、現在市内で92の団体が活動しています。今回は、吹上地域の「湯之元伯楽会」を紹介します。

湯之元伯楽会は平成19年に設立し、現在、男性15人、女性31人の計46人の会員で活動しています。誕生会を年4回開催し、グラウンドゴルフ大会も年3回開催するなど、定期的に会員が集う催しを開き、相互の親睦と融和を深めています。また、花いっぱい運動として、市道沿いの花壇で季節の花の植栽や管理を行い、地域の環境美化にも積極的に取り組んでいます。

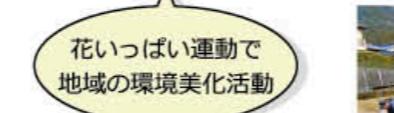
みなさんも、仲間といきいきと楽しく過ごせる「高齢者クラブ」に参加しませんか？



元気よく
グラウンドゴルフ
大会



誕生会では
踊りも舞われます



花いっぱい運動で
地域の環境美化活動



誕生会では
踊りも舞われます

CIVIC NEWS 縮小版

高齢者クラブ活動に参加しませんか？

福祉課
長寿福祉係からの
お知らせ

CIVIC NEWS 縮小版

鹿児島トップ温暖化 かごしまエコファンドについて

農林水産課
林務水産係からの
お知らせ

かごしまエコファンドは、鹿児島県独自のカーボン・オフセットの仕組みです。カーボン・オフセットとは自らの活動等により排出される温室効果ガス(CO₂)の量を計り、それを減らすための活動を行い、それでも削減できない分を、森林保全活動を支援するという形で埋め合わせる取り組みです。

日置市では、市有林の間伐で得られたCO₂吸収量に對して954t CO₂のクレジット認証を受け、「日置市の吹上浜海岸・白砂青松地を守りウミガメの故郷を守ろうプロジェクト」に取り組んでいます。クレジットの販売代金は市内の物産館や漁港にある外灯・防犯灯をLED照明などの省エネ設備に交換



かごしまエコファンドホームページ
<http://kagoshima-ecofand.jp/>
【お問い合わせ先】
本庁農林水産課林務水産係
TEL 273-8870

本市のクレジット購入状況（平成29年5月～平成30年3月）

単位:t-CO₂

活用内容	クレジット購入者	購入量
自社排出量の削減	松崎建設(株) ※2回購入	6.0
	(株)フォレストック	5.0
	末吉建設(株)	10.2
	(株)福地建設 ※2回購入	35.9
会議・イベント開催	鹿児島地域植樹祭実行委員会	2.0
	まるごと伊集院フェスティバル実行委員会	1.0
	公益財団法人かごしま環境未来財団	1.0
	いじゅういん梅マラソンジョギング大会実行委員会	1.0
	いぶすき菜の花マラソン大会実行委員会	15.0
	合計	77.1

し、温室効果ガスの削減など地球温暖化対策に活用します。

詳しくは、かごしまエコファンドホームページまたは農林水産課林務水産係までお問い合わせください。

899-2592

日置市役所
総務課秘書広報係 行
(No.157 / 2018.5月号)

お手数ですが
62円切手を
お貼りください

◎ご氏名	フリガナ		
年齢／歳	性別／男・女		
◎ペンネームまたはイニシャル			
※記入がない場合、実名で記載させていただきます。			
◎ご住所	□□□-□□□□		
電話() -			

△点線に沿って切り取ってください。(官製ハガキでも可)

×キトリ線



このコーナーは読者の皆さんからの生の声を紹介するページです。本紙への感想、皆さんの日置市での出来事など、たくさんの声をお聞かせください。

◎今月のお題

「連休サイコー!!」

連休は楽しましたか?旅行に行ったり、イベントに出掛けたり。皆さんの連休の思い出を教えてください。私は今年も子どもを連れて出かけては家族サービス兼取材でした。それもけっこう楽しいですけどね。お便りを掲載させていただいた方に「ひおき茶」をプレゼント。応募締切りは5月21日(月)当日消印有効です。

現 在は携帯1つで世界中の情報が手に入る時代です。でも実際に海外へ行って、自分の目で見て体感することは違います。鹿児島の学生に、自分自身を成長させる海外での貴重な体験をしてほしい。そう話すのは鹿児島国際大学で学ぶ高野愛佳さん。彼女は現在、学生ながらNPO法人の役員として活動しています。「大学入学時はやりたいことも見つからず何となく過ごしていた」。法人の説明資料を手に堂々とインタビューに答える姿からは想像もつきませんでした。彼女を成長させたもの、それはいつたい何だったのでしょうか。

高野さんが所属するNPO法人「GROAD」は鹿児島大学で初となる学生NPO。鹿児島の学生に海外渡航の機会を作り、世界で活躍できる人材育成を支援することを目的としています。「GROAD」とはGLOBAL(世界的な) × GROWTH(成長) × ROAD(道)の意味です。GROADは平成28年にクラウドファンディングで資金を募り、同年に法人を設立。タイやベトナムなど、これまで12人の海外渡航を手助けしてきました。この渡航には特色があります。学生は鹿児島の協賛企業が提供する県産品を手に渡航。現地でテストマーケティングを行い、その結果を企業にフィードバックします。その課題のゴールは学生自身が決めるのです。学生の自主性を尊重し、帰国後の自身の成長というゴールも定めます。帰国後のレポートには、大袈裟ではなく「人生を変える」体験をしたという報告が並んでいました。

高野さんはGROADの設立段階から参加していました。「以前はやりたいこともなく過ごしていました」。GROADへの参加は、その前身となるサークルの集まりに参加したことがきっかけ

でした。そこで海外渡航の経験のある女性と出会いました。カンボジアに単身渡航し、そこの小学校で歯磨きの仕方や文字を教えてきたという話をその女性から聞きました。同じ女性で、しかも学年なのに、その体験談に大きな衝撃を受けたそうですね。「大学4年間あるし、私も何か1つやり遂げよう」。一念発起しそのサークルに参加。の設立にも関わるようになり、大学2年の夏には法人の広報部門長に抜擢されます。

「以前の私は受け身で流されるタイプだったと思います。でも海外での経験がえてくれました。海外では自分から声を発しないと始まらない。自分の意思はちゃんと伝えないといけない。積極的な自分を身に付けられたと思いまして。法人の広報責任者としてマーケティング活動をするうちに、高野さんの目は「海外」から、逆にふると「鹿児島」に向けられるようになりました。「以前はとにかく鹿児島を出たいとばかり考えていました。でもGROADで活動するうちにたくさんの魅力的な人たちに出会うなかで、鹿児島そのものの魅力に気づいたんです」。鹿児島の学生の成長を手助けしたい」というGROADの目標は、いつしか彼女自身の目標になっていました。

鹿児島の港から、かつて「薩摩スチューデント」と呼ばれる若者たちが祖国のため危険を省みず旅立ちました。その頃の「熱量」を現代に取り戻したいという思いがGROADの活動目的にあります。そのメンバーとして活動し「将来は鹿児島のために働きたい」と話す高野さんの熱い思いに、現代に引き継がれた大きな「熱量」を感じることができました。

【かっこいい生き方を学ぶ】

Life

◎NPO法人GROAD
たかのあいか
高野 愛佳さん

平成10年、鹿児島市に生まれ伊集院町で育つ。鹿児島国際大学で学びながら、1年生の時に鹿児島大学の国際サークルに参加。その後、鹿児島大学で初となる学生NPO「GROAD」の設立に携わる。2年生となってからは法人の広報部門長を務め、活動のPRなどを担当している。韓国語が堪能。美山窯元祭りでは通訳も務めています。



お便りありがとうございます。

お誕生日おめでとうございます。一つのことを続けるというのは大変なことですよ。お供えする生花を選びにお花屋さんに行って、暑い日も寒い日もお墓に足を運ぶ。大変なことだと感心します。私は墓参りは彼岸の時か、近くに寄った時など、1年に数えるほどしかしません。今の自分がいるのも、ご先祖さまのおかげですよね。私も近況報告など、月1回は、手を合わせて行こうと思います。

お便りありがとうございます。

偉大な先人と同じで学び、成長していくということはとても光栄なことですよ。先日、私は日吉小学校の開校式にお邪魔してきました。私は転校を経験した事はありませんが、学校の統合というのは、みんなが転校生みたいなものですよね。また新しい友と新しい学校生活が始まります。それぞれの地域の伝統や特色が良い化学反応を起こし、先人をも成し遂げることができなかった偉業を成し遂げる薩摩の新・偉人が誕生することを心から願っています。

※本庁、各支所に読者の声応募BOXも設置しております。応募BOXの場合は切手もいりませんのでぜひご活用ください!!

児島写真館は、創業85年を迎えました。

シークレットキャンペーン開催のお知らせ!

この春にホームページをリニューアルいたしました。

こちらをご覧いただいたお客様だけにお得なキャンペーンをご用意いたします。

振袖のお得なレンタルのご案内や七五三&七草の後撮りや前撮りのお得なキャンペーンなど。

たくさんのお客様に喜んでいただけるように時折キャンペーンを開催!

ホームページを賢くご利用くださいね!

鹿児島県日置市伊集院町都一丁目100番地 TEL 099-248-9401 FAX 099-273-3063

Tel.099-273-2017 [f](#)

HOME お店の紹介 デザインメニュー ギャラリー お客様の声 料金表 宝箱ブログ ご予約・お問い合わせ

かけがえのない宝物づくりをプロデュース

お客様の実際の声は、
HPをご覧ください。

児島写真館が選ばれ続ける理由

●地元に長く愛されているから

●全国のコンテストで第2位受賞するなど、安心の技術



かけがえのない
宝物づくりを
プロデュース

児島写真館

日置市伊集院町徳重403-5 TEL.099-273-2017

●営業時間 平日9:00~19:00 / 土日祝9:00~17:00 ●定休日 毎週水曜日

<http://www.kojima-photostudio.com>

無料
シロアリ・害虫防除
調査見積



(社)日本しろあり対策協会正会員
JA農協・コープかごしま調査施工指定店

S 有限公司 南日本消毒

伊集院 099-272-6033 [0120-08-1144](tel:0120-08-1144)
TEL 099-2501 日置市伊集院町下谷口2001

地元で安心の伊集院駅近く
白アリ防除は
南日本消毒にお任せ下さい

建築家と一緒につくる
高性能なデザイナーズ住宅を、
手の届く価格で。



「アトリエ建築家」と呼ばれるプロの建築家がつくる
住みやすくてかっこいい家
高気密・高断熱・高耐震の「高性能住家」
誰もが「いつかは住んでみたい」と思う
理想の住宅を手の届く価格で。

お客様ひとりお一人の家づくりへの想いをカタチにします。

あなたの家づくりを応援!!

マイホーム資金セミナー
好評予約受付中

モデルハウス見学予約受付中
※完全予約制ですので、
事前にご連絡ください。

詳しくはHPまたは
お電話にて
お問い合わせください。

木のんホーム
conon home

お問い合わせ 0120-099-378

株式会社 東木材 〒898-0065 枕崎市桜山東町969
URL:<http://cononhome.com/>